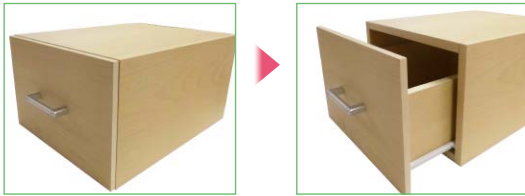


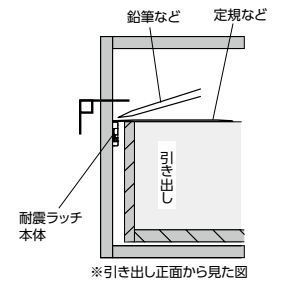
PFR®-QD耐震金具取付方法/解除方法

※金属製の引き出しには取り付け不可です。※取り付け可能なものは引き出しが取り外せるものに限りです。
※取り付け用のネジは金具が変形するほど締め付けないでください。

- 1 引き出し本体をキャビネット本体から100mmほど引き出します。



- 2 定規を当て、引き出しと水平のキャビネット本体の側板に鉛筆で印を付けます。
※R側も同様に付けます。



- 7 受けのネジ止め位置に印を付け、ネジ止め位置にきりで下穴をあけます。



6



印と引き出しの側板上面に受けの端を合わせます。



引き出しの前板裏側から81.5mmの位置に印を付けます。



- 8 受けを、ネジで取り付けます。(2箇所)



取り付けました。
※R側も同様に取り付けます。

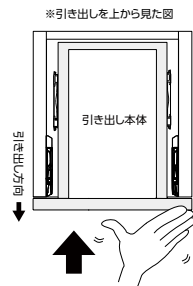


- 9 耐震ラッチ本体のシールをはがします。



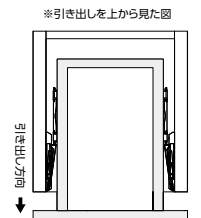
14

前板を押し戻します。ロックがはずれ(解除され)、本体内部の感知体が平常時の通常の状態に戻り、(シーン10)のようになれば完了です。



13

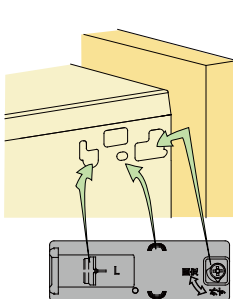
ロックがかかり、引き出しがそれ以上引き出せないことを確認します。



PFR®-QS2ラッチ受けB・BF取付方法/解除方法

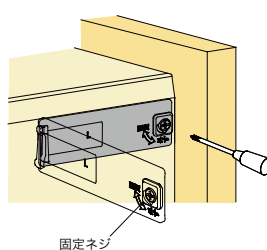
ラッチ受けB・BFの施工方法

STEP 1



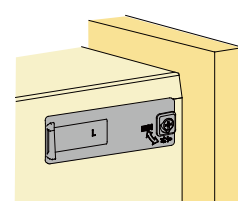
ラッチ受けの後方のツメ・前方のツメを各々キャビネットの側面の溝に差し込みます。
※R側も同様

STEP 2



ラッチ受けの固定ネジをドライバーで、時計回り(固定)に90度回転させ、キャビネットに固定します。

STEP 3



引き出しの開閉動作を確認します。
完成。

3 引き出しをキャビネット本体から引き抜きます。



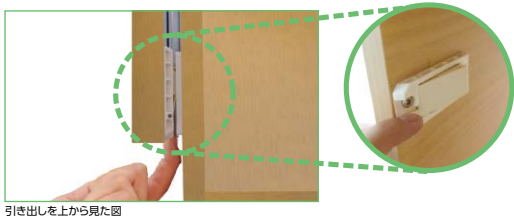
5 耐震ラッチ本体を、ネジで取り付けます。 ※R側も同様に取り付けます。



10 引き出しを収納本体に戻します。

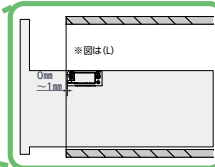


12 (シーン11)の状態からさらに引き出しを引き出し、耐震ラッチ本体のレバー部を押し上げ、グラビティラッチを受けに当てます。



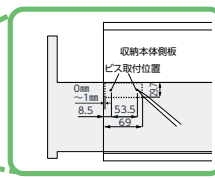
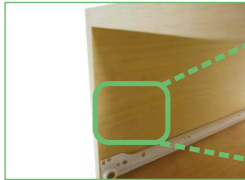
引き出しを上から見た図

4 耐震ラッチ本体をキャビネット本体の前板に合わせます。



※収納本体より耐震ラッチ本体が出ないようにしてください。

耐震ラッチ本体の上面を(シーン2)の印に合わせ、耐震ラッチ本体のネジ止め位置に印をつけます。



ネジ止め位置にきりで下穴をあけます。



11 引き出しを本体から100mmほど引き出します。

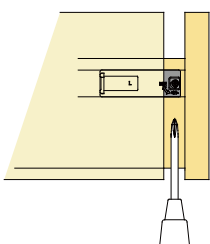


取り付け位置が正しいかの確認方法
▶シーン11~14

PFR-QSのロックを解除する方法の説明です。地震などの災害や、何らかの理由で、ロック解除がされず引き出しが、引き出されなかった時などに行ってください。

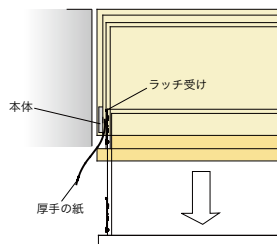
ラッチ受け B・BF

【引き出しの周囲に空間がある場合】



ロックが作動中においても固定ネジを操作できる位置まで、引き出せるようになっています。ドライバーで、固定ネジを反時計回り(外す)に90度回転させ、取り外してください。

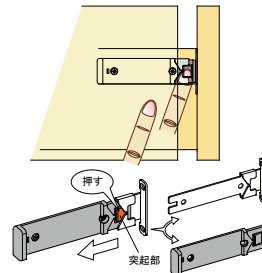
【ドライバーが障害物等で、使えない場合】



厚手の紙(広告の紙等)をラッチ受けと、ラッチ本体の間に差し込むことによりロック作動を抑制し、引き出しを引き出すことを可能にします。

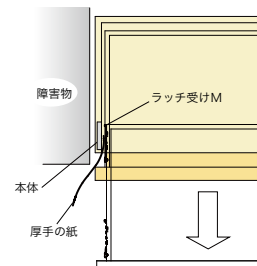
ラッチ受け M

【引き出しの周囲に空間がある場合】



ロックが作動中においても、解除操作できる位置まで、引き出しは引き出せるようになっています。指、もしくは隙間に入る道具で樹脂部の突起部を押し、引き出しに固定されている金具から樹脂部を取り外してください。

【引き出しの周囲に障害物等で空間がない場合】



厚手の紙(広告の紙等)をラッチ受けMと、ラッチ本体の間に差し込むことにより、ロック作動を抑制し引き出しを引き出せます。

